

市民と共に 八戸の未来を創る



八戸市長 くまがい ゆういち
熊谷 雄一

市民の皆様には、希望に輝く新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中は市政への温かい御支援と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、国際情勢の変化に伴う原油・原材料価格の高騰に加え、急激な円安による物価上昇によって市の経済及び市民生活は多方面で大きな影響を受けたところであり、今後の先行きも依然として予断を許さない状況が続いております。

一方、昨年は当市にとって象徴的な1年でもありました。3月に国の天然記念物である「蕪島ウミネコ繁殖地」が指定100周年を迎えたほか、夏には八戸三社大祭の代替行事が開催され、3年振りとなる山車の特別運行が実現しました。11月には八戸駅隣接のユートリー開業30周年、そして12月には市民の台所である八戸市魚菜小売市場のり

ニューアルに加え、東北新幹線八戸開業が20周年の節目を迎え、地域の魅力発信に繋がるイベントが官民一体となって実施されるなど、関係各位の御尽力により、コロナ禍にあっても市が誇る様々な地域資源を活用した行事が行われたところがあります。

さて、市民の皆様には御信任いただき、市長に就任してから1年が経過いたしました。私は、これまで市勢伸展を第一に、新型コロナウイルス感染症への対策はもとより、疲弊した地域経済の回復や原油・原材料価格高騰への対応、中心市街地の活性化や水産業の再興に向けた対応、さらには地域のデジタル化や脱炭素社会の構築に向けた取組など、早急に取り組むべき喫緊の課題への対応から、市の未来を見据えた施策の展開に至るまで、各種施策を全力で推進してきたところであり、今後も就任にあたって掲げた公約を実現す

るべく邁進してまいります。また、就任以来、私は市民の皆様との「対話と共感」を大切にするという信念の下、多くの方とお会いし、地域の状況をこの目で確認してまいりましたが、改めて当市の「個性」や「強み」を認識するとともに、地域を取り巻く社会情勢が大きく変化している今、多くの課題を克服していくためには、これまで先人が歩んできたように、行政と市民が一体となって、市民一人一人が持つ「市民力」を結集してこの難局を乗り越えていくことが必要であると考

えております。

今後の市政運営にあたっては、引き続き市民の皆様への願いや希望に応え、市民と共に新しい八戸を創り上げていくことに全身全霊をかけて取り組んでまいりますので、市政に対するより一層の御支援と御協力を賜りますとともに、皆様にとりまして明るく希望に満ちた一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

令和5年1月1日
八戸市長 熊谷雄一



八戸市魚菜小売市場



公民館サロン